

原子力軍艦寄港海域海産生物放射能調査

佐多 忠夫・須藤 裕介・吉里文夫

1. 目的及び内容

アメリカの原子力軍艦が寄港するホワイトビーチ周辺海域の海産生物放射能調査をする。

本調査は独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所の「原子力軍艦寄港海域海産生物放射能調査」委託事業実施要領に基づき同中央水産研究所へ測定試料の送付を昭和47年度から継続実施している。

なお、中央水産研究所における放射能測定結果は農林省関係放射能研究年報（農林省技術会議事務局）に報告される。

2. 方法

魚類、軟体動物、ナマコ類、海藻類等の6試料を年4回、金武湾、中城湾（ホワイトビーチ）及びその周辺海域で採集または購入し、定めた前処理（種分け、冷凍または乾燥）を行い中央水産研究所に送付した。

3. 結果(表1)

表1に示した。

表1. 送付試料の内訳

(単位: kg)

試料	送付年月／日	2005	2005	2005	2006	備考
		6/1	10/7	12/9	2/8	
魚類	シモフリアイゴ	3.3	5.0	4.4	4.6	
	ヒメジ類	3.8	5.3	4.6	5.8	
	ヒブダイ	3.3	4.5	4.4	4.5	
	ヒトスジタマガシラ	4.1	—	—	—	
	タチウオ	—	2.1	—	—	
	ドロクイ	—	—	4.6	—	
軟体動物	アオリイカ	—	5.5	—	—	
	コブシメ	—	—	6.5	—	
	タコ	6.3	—	—	—	
	シャコガイ類	—	—	—	6.5	殻付き
ナマコ類	ニセクロナマコ	3.8	4.7	4.8	4.0	
海藻類	ホンダワラ類	1.2	1.5	1.3	1.6	乾燥重量